



商工会議所

活用事例

(有)臼田産業

常務取締役 臼田 あきひろ 晃浩 さん
輸出梱包業
住所：門司区旧門司 2-5-20
TEL：321-2113

今回活用したのは 事業承継支援

計画書づくりで課題が明確に 仕事の効率もアップしました

当社は1917(大正6)年に造船所を創業。1972(昭和47)年に法人化し、輸出梱包業務を開始しました。中国をはじめとしたアジア圏、アメリカ、ヨーロッパなどに輸出される産業用ロボットや精密機器などの梱包を行っています。その物流過程における衝撃や振動など様々な破損リスクや、湿気などの天候リスクから製品を守るために個々に梱包の枠組みを設計する必要があります。苦勞しますが、産業用ロボットや精密機械といった日本を代表するものづくりを支える仕事だと自負しています。

商工会議所とのつながりは、4年前に補助金の申請で相談したことがきっかけでした。その後、経営革新計画作成に取り組むことを勧められ、相談を重ねるう

ちに、事業承継についても考えるようになりました。専門家にアドバイスをもらって気づかされることも多々あり、頭の中で考えていたことを計画書という形にしたことで、直近の課題や将来取り組むべきことが明確になりました。

例えば、事業承継に向けた課題解決の一つとして、仕事分担を明確にし、組織をグループ化。若手社員が年の近い先輩に相談しやすい環境を整えた結果、仕事の効率もアップしたと感じています。日本のものづくりを支える企業として、永くあり続けるために、安全と品質を保ちながら、いままで支えてもらった門司港の活性化にもより貢献していきたいと考えています。



「確かな梱包によって物流過程における破損リスクや天候リスクから製品を守っています」と話す臼田常務取締役

担当職員のひとこと

臼田常務とは4年前に初めてお会いしました。従業員に気配りされ、親身になって相談に乗る姿が印象的で、従業員を大事にされる姿は今も変わりません。大変勉強熱心で、社長の経営理念のもと、会社の課題解決のため、積極的に事業承継に向けた支援や5S導入促進支援を活用されています。事業が円滑に受け継がれ、今後もますます発展されるよう願っています。



門司サービスセンター長
白野 司

施策紹介

事業承継には5～10年が必要と言われる。後継者教育といった経営や資産の承継を計画的に着実に進める必要があります。当会議所には事業承継診断(無料)の結果をもとに、事業承継計画づくりなどをサポートする専門家派遣制度があります。ぜひご活用ください。